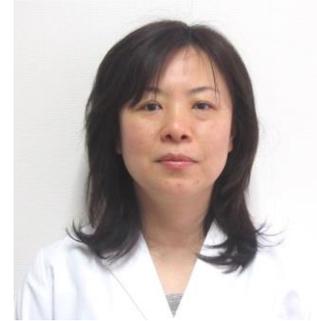




～安全で安心な麻酔を目指して～



麻酔科 科長 宮本悦子

昨年、平成24年の4月から麻酔科に勤務しております、宮本悦子と申します。大阪赤十字病院、関西医科大学附属病院を中心に多くの病院で麻酔科医として働いてまいりました。平成14年以降は日帰り手術を多く担当してきました。手術を受けたその日のうちに患者さんを安全にお返しするという日帰り麻酔は、お薬の種類や量の調節が非常に難しく、患者さんが当日歩いたり食べたりできるような麻酔であるとともに、痛みやだるさを極力減らすというパラドックスに難渋しました。しかし、この日帰り麻酔の経験から、いかに患者さんにとって楽で痛みの少ない、普段の睡眠に近い麻酔をかけることが出来るのかを学んだと思います。

また、近年の麻酔に関する薬物の進歩も目を見張るものがあります。超短時間作用型の麻薬と短時間作用型の麻薬の組み合わせによる鎮痛作用の向上、効きがよく、特定の拮抗薬を持つ筋弛緩薬の登場などにより、安全で循環動態の変動の少ない麻酔をかけることが可能となりました。

麻酔科医は、手術の間の患者さんの命を預かるのが仕事だと思っています。外科医が安心して手術に専念できるように、また患者さんが安心して若草第一病院で麻酔・手術を受けて頂けるように、これからも安全な麻酔を提供したいと思っています。

最後に、昨今の抗凝固剤の使用頻度の増加から、今後は術後鎮痛として多用している硬膜外麻酔などが制限されることが予想されます。その際の鎮痛として、現在は麻薬の持続静注を行なっていますが、嘔気・嘔吐などの副作用も見られます。そのため、超音波ガイド下の末梢神経ブロックの導入を検討しています。

地域の先生方から紹介して頂いた患者さんに、より安全で安心な麻酔を提供できますように努力を続けてまいります。今後とも御指導、御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

地域連携室健康相談課のご紹介



私たちがお手伝いします



当院では、5名の相談員(社会福祉士)が病棟毎に配属されています。相談内容は多岐に渡り、在宅サービスの調整、転院相談、経済面の相談、介護保険の申請相談、身寄りのない方の退院後の生活の調整など、日々奔走しています。今後も地域医療支援病院として早く元の生活状態に戻れるように調整してまいります。

“その人らしい生活が出来る場所へ帰る”ことを目的とし、患者さん・ご家族の希望を重視しながら、退院調整看護師含め医療チームで入院時からスムーズに退院ができるように支援しています。

在宅調整にあたっては退院支援計画を作成し、担当の介護支援専門員さんや在宅サービスを提供されている方と共に退院前カンファレンスを行ない安心して住み慣れた家に帰ることができるようにチームで関わっております。相談員・退院調整看護師は、地域連携室の一員として同じ部屋で情報共有を図っています。先生方から気になる患者さんがおられましたら、事前に地域連携室へ気軽にご相談ください。

若草第一病院健康相談課

相談受付: 月～土 9:00～17:00

担当: 高坂・坂本・岩城・齋藤・篠原 退院調整看護師 大西

場所: 南館1階窓口

第26回オープンカンファレンス 開催について

日 時：平成25年10月17日(木曜日)

午後2時00分～午後3時30分

場 所：若草第一病院 本館3階会議室

対 象：開業医の先生方、救急隊

演題①：「COPD病態と治療」

呼吸器内科 佐藤佳奈子

演題②：「胸部X線単純写真とCTの撮影条件と画像診断」

放射線課



※尚、大阪府医師会の生涯研修にも認定されていますのでチケットのご提出をよろしくお願いいたします。

開放型病院新登録医のご紹介

医師会	医療機関名	医師名
河内医師会	とちの耳鼻咽喉科クリニック	栩野 理恵 先生
河内医師会	原クリニック	原 聡 先生
布施医師会	さかもと内科クリニック	坂本 博和 先生
布施医師会	やまもと内科クリニック	山本 年済 先生

上記の先生に当院の開放型病院に御賛同頂きました。

社団の理念

最高の医療を提供し、地域社会の健康と健やかな人生に貢献します。

若草第一病院の目標と基本方針

- ＜目標＞ 頼りにされる病院
- ＜基本方針＞
 - ・笑顔で接する
 - ・他人に優しく、自分に厳しく
 - ・相手の気持ちになって行動する